

25journal

society&business Tokyo25 journal
執筆協力 編集室システムU okamura.nobuyoshi@gmail.com

東京秋川ロータリー
クラブ(松村博文会)

東京秋川RC 創立50周年祝う 次代への飛躍を誓う



節目を祝った会員と関係者ら

長)の創立50周年記念式典が5月18日、パレスホテル立川で開かれた。関係者220人が参加し、半世紀という大きな節目を盛大に祝い、次代への飛躍を誓った。

同クラブは1973年に東京福生ロータリークラブを親クラブとして発足。少年軟式野球や中学生女子バレーボール、ミニサッカーの各大会、ヤマメの里親教室、秋川消防少年団の支援などの活動を

通し、青少年の育成と地域の発展に尽力してきた。また、韓国の密陽、フィリピンのセントラル・ダバオの各ロータリークラブと姉妹、友好のクラブ関係を結び、国際交流も深めた。現在の会員数は45人。

記念式典で松村会長が「半世紀の活動実績を土台に、未来のために行動するクラブを実践していく」と力強く述べた。

鶴田和男実行委員長は「秋川ロータリークラブには先輩たちの奉仕の理想を掲げて豊かな社会を創造しようという気概と努力が連綿と伝わっている。その気概と努力を次の50年に向けさらに発展させたい」と呼びかけた。

席上、記念事業としてロータリー財団、ロータリー米山記念奨学会、米山梅吉記念館、ロータリー希望の風奨学金に寄贈品が渡されたほか、在籍・皆出席50年の橋本健司氏、在籍43年の山田宗孝氏、同40年の法理規夫氏ら11人が永年在籍表彰を受けた。写真下。

来賓祝辞で、嶋村文男国際ロータリー第2580地区ガバナー、東京福生ロータリークラブの鳥居徹也会長、中嶋博幸あきる野市長らが登壇。50年間の実績を称えるとともに、今後のさらなる活躍に期待を寄せた。

式典終了後、国際金融経済学者の真田幸光氏が「混沌の世界情勢を見る」と題し記念講演した。

5月13日には秋川キラホールで一般を対象に創立50周年記念講演会と演奏会が行われた。キャノングローバル戦略研究所主幹の宮家邦彦氏が「国際情勢と日本の取るべき道」と題し講演した。

は「秋川ロータリークラブには先輩たちの奉仕の理想を掲げて豊かな社会を創造しようという気概と努力が連綿と伝わっている。その気概と努力を次の50年に向けさらに発展させたい」と呼びかけた。

席上、記念事業としてロータリー財団、ロータリー米山記念奨学会、米山梅吉記念館、ロータリー希望の風奨学金に寄贈品が渡されたほか、在籍・皆出席50年の橋本健司氏、在籍43年の山田宗孝氏、同40年の法理規夫氏ら11人が永年在籍表彰を受けた。写真下。

来賓祝辞で、嶋村文男国際ロータリー第2580地区ガバナー、東京福生ロータリークラブの鳥居徹也会長、中嶋博幸あきる野市長らが登壇。50年間の実績を称えるとともに、今後のさらなる活躍に期待を寄せた。

式典終了後、国際金融経済学者の真田幸光氏が「混沌の世界情勢を見る」と題し記念講演した。

5月13日には秋川キラホールで一般を対象に創立50周年記念講演会と演奏会が行われた。キャノングローバル戦略研究所主幹の宮家邦彦氏が「国際情勢と日本の取るべき道」と題し講演した。

「混沌の世界情勢を見る」
真田氏の講演要旨

「国際情勢と日本の取るべき道」
宮家氏の講演要旨

世界情勢占う2つの講演に学ぶ

に拍車をかけた。石油価格も一時は跳ね上がった。経済の先行きに不透明感が増し、混沌を助長させている。

今後の世界情勢は、情報を制するものが世界を制する。宇宙開発や5G

日本は現実的に米国をはじめG7各国と協力していく必要がある。その中で日本でも世界が必要とする独自の産業をつくって、生き延びられるような技術開発をしていくことが求められる。そうした最新の技術を持つことが抑止力にもなる。

「国際情勢と日本の取るべき道」
宮家氏の講演要旨

寺は文化の発信地 創ろう地域の文化を人から歴史から

そうぜんじ便り—水無月

第79回土曜講座 (お茶代300円) 6月10日 13時~15時
【中里介山忌】

- イス坐禅とお話し 住職 高井 正俊
- 講師未定
- 「私のしてきたこと、そしてこれから」 前羽村市議 水野 義裕先生

学生無料。予約不要。檀信徒以外の方の参加大歓迎。

【劇団水族館 劇場 宗禅寺 公演「新漂流都市」】

○公演日 5月27日(土) 28日(日) 29日(月)
6月2日(金) 3日(土) 4日(日) 5日(月) 6日(火)

○木戸銭 ¥4,000 全席自由 ○入場整理券配布16:30 開演18:30

臨濟宗建長寺派 宗禅寺 羽村市川崎2丁目8-20 ☎042-554-1276

返さないが、時に韻を踏む。中国が判断ミスする頻度は低くない。北京のリーダーが台湾に手を出しても成功せず、判断ミスは高くつくことを知らせないといけない。話し合いの糸口を常に開きながら、中国を抑止するための日本の姿勢を示すこと、国を守る意思を見せ、独裁者に間違ひさせないことが重要だ。